

商品名 リバスチグミンテープ13.5mg「KMP」 医薬品基本情報

薬効	1190 その他の中枢神経系用薬	一般名	リバスチグミン貼付剤
英名	Rivastigmine KMP	剤型	貼付剤
薬価	109.60	規格	13.5mg 1枚
メーカー	共創未来ファーマ	毒劇区分	(劇)

リバスチグミンテープ13.5mg「KMP」の効能・効果

軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

リバスチグミンテープ13.5mg「KMP」の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 重度肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 本剤を慎重に投与することが推奨される	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. アルツハイマー型認知症以外の認知症性疾患	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
5. 心疾患、洞不全症候群、洞房ブロック、房室ブロック、伝導障害、QT延長の家族歴、QT延長又はその既往、心筋梗塞、心筋症、低カリウム血症、電解質異常、弁膜症、胃潰瘍又はその既往、十二指腸潰瘍又はその既往、尿路閉塞を起こし易い体質、尿路閉塞、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、気管支喘息又はその既往、閉塞性肺疾患又はその既往、錐体外路障害、パーキンソン症候群、パーキンソン病	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

リバスチグミンテープ13.5mg「KMP」の副作用等

1. 消化器系障害、悪心、嘔吐	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

2. 適用部位皮膚症状	記載場所	効能・効果
	頻度	頻度不明
3. 洞不全症候群、食道破裂、重度嘔吐、胃潰瘍、肝炎、せん妄、錯乱	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
4. 狭心症、心筋梗塞、徐脈、房室ブロック、QT延長、一過性脳虚血発作、脳出血、脳梗塞、脳血管発作、痙攣発作、十二指腸潰瘍、胃腸出血、失神、幻覚、激越、嘔吐、下痢の持続、脱水	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
5. 食欲減退、嘔吐、悪心、接触性皮膚炎、適用部位紅斑、適用部位そう痒感、適用部位浮腫	記載場所	その他の副作用
6. 不安、攻撃性、悪夢、腭炎、蕁麻疹、皮膚水疱、適用部位過敏反応、縮瞳	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
7. 尿路感染、貧血、好酸球増加症、糖尿病、不眠症、うつ病、落ち着きのなさ、浮動性めまい、頭痛、傾眠、振戦、上室性期外収縮、頻脈、心房細動、高血圧、下痢、腹痛、胃炎、消化不良、発疹、湿疹、紅斑、皮膚そう痒症、多汗症、アレルギー性皮膚炎、血尿、頻尿、蛋白尿、尿失禁、疲労、無力症、けん怠感、適用部位皮膚剥脱、適用部位疼痛、適用部位亀裂、適用部位皮膚炎、適用部位反応、適用部位腫脹、適用部位刺激感、体重減少、血中アミラーゼ増加、肝機能検査異常、コリンエステラーゼ減少、転倒、転落、末梢性浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
8. 皮膚症状、皮膚角質層剥離、血中濃度増加、嘔吐、下痢の持続、脱水、重篤な転帰、体重減少、徐脈、不整脈、房室ブロック、QT延長、Torsade de pointes、消化器系障害、悪心、死亡、下痢、腹痛、めまい、振戦、頭痛、失神、傾眠、錯乱状態、幻覚、多汗症、高血圧、けん怠感、縮瞳、重度悪心	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

リバスチグミンテープ13.5mg「KMP」の相互作用

1. 薬剤名等：コリンエステラーゼ阻害作用を有する同効薬			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止
2. 薬剤名等：コリン作動薬			
発現事象	コリン刺激作用が増強されコリン系副作用＜悪心・嘔吐・徐脈等＞を引き起こす	投与条件	-
理由・原因	本剤と同様にコリン作動性作用を有している	指示	注意
3. 薬剤名等：コリンエステラーゼ阻害剤			
発現事象	コリン刺激作用が増強されコリン系副作用＜悪心・嘔吐・徐脈等＞を引き起こす	投与条件	-
理由・原因	本剤と同様にコリン作動性作用を有している	指示	注意

4. 薬剤名等：抗コリン作用を有する薬剤

発現事象 本剤と抗コリン作用を有する薬剤のそれぞれの効果が減弱

投与条件 -

理由・原因 本剤と抗コリン作用を有する薬剤の作用が相互に拮抗

指示 注意

5. 薬剤名等：アトロピン系抗コリン剤

発現事象 本剤と抗コリン作用を有する薬剤のそれぞれの効果が減弱

投与条件 -

理由・原因 本剤と抗コリン作用を有する薬剤の作用が相互に拮抗

指示 注意

6. 薬剤名等：サクシニルコリン系筋弛緩剤

発現事象 作用が過剰にあらわれる

投与条件 -

理由・原因 本剤がコリンエステラーゼを阻害し、脱分極性筋弛緩剤の分解を抑制

指示 注意

7. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象 胃潰瘍又は十二指腸潰瘍を誘発又は悪化

投与条件 -

理由・原因 コリン系の賦活により胃酸分泌量が増加

指示 注意

